

提出 順番	No. 3	令和 3 年 8 月 26 日 午前・ 午後 1 時 20 分受領
----------	----------	---

令和 3 年 8 月 26 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小田 新紀



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 小中学校におけるタブレット活用の進捗状況について	<p>文部科学省が推進する「G I G Aスクール構想」は、当初 2019 年度より 5 年間で、順次ハード環境を整備する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、より一層、オンラインを活用した学習の必要性が高まったことにより、大幅にスケジュールが前倒しされました。つまりは、各自治体においても、「G I G Aスクール構想」実現に向けた学習環境の整備を早急に推進していくことが求められているということです。</p> <p>その一環として、本町においても昨年 7 月、補正予算により、各小中学校に一人一台のタブレット端末が導入されました。予算成立から 1 年以上が経過した中で、小中学校におけるタブレットを活用した学びの進捗状況について、以下の点を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 町内小中学校におけるタブレットの活用状況ならびに先進的な学びの事例は。 (2) タブレットを活用した学習環境の充実のための町の支援策は。

2 学校現場のリモートワーク推進について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国や北海道は、昨年度より各自治体においても、テレワーク等の導入・活用を推奨するよう通知しています。さらには、導入経費にかかる特別交付税措置もされている所であります。

テレワークは、新型コロナウイルス感染拡大防止策の一つであることはもとより、将来の感染症対策や自然災害等の様々なリスクにおいても、業務継続性確保の観点、さらには働き方改革にも通じる制度であると言われています。

但し、教職現場においては、その業務の特徴からなかなか推進できない状況にありました。しかしながら、児童生徒が登校しない長期休業中においては有効活用できる制度として、各自治体においても、すでに教職員のテレワークが活用されていましたり、今夏に入り試行したりする自治体もある状況です。

本町における教職員のテレワーク活用の進捗状況について、以下の点を伺います。

- (1) 教職現場におけるテレワーク活用状況及び有効活用についての考えは。
- (2) テレワークの有効活用に向けた今後の環境整備の方策は。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。